

神奈川県異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第123号>

# かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議（議長 金究武正）  
 発行責任者：専務理事(事務局長) 芝 忠 編集担当：宗和 正憲  
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F  
 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194  
<http://www.kanagawa-iguren.com>

## 2013年2月号

### 【 今月のコンテンツ 】

- テクニカルショウ ヨコハマ 2013
- かながわ異グ連活動報告 ..... 2
- 異グ連会員グループ・プロジェクト状況 ..... 2～4
- 「新事業・新技術支援フォーラム」（略称：戦略会議）の報告（その7） ..... 4, 5
- オフィス架け橋【連載14】行政書士 特定社会保険労務士 松田 健 ..... 5
- 産学官交流サロンコーナー ..... 6
- 事務局コーナー ..... 6



### 【 テクニカルショウ ヨコハマ2013 】

取材報告： 広報 宗和

2013年2月6日（水）～8日（金）パシフィコ横浜で行われたテクニカルショウ ヨコハマ2013に行ってきました。これは公益財団法人神奈川産業振興センター、社団法人横浜市工業連合会、神奈川県、横浜市が主催する神奈川県下最大の工業技術・製品総合見本市です。第34回となる今回の工業技術見本市は「未来につながる新たな技術」をテーマに「ビジネスソリューション」、「生産（加工技術）」、「生産（機器・装置・製品）」、「環境・エネルギー/福祉」、「産学公・企業間ネットワーク」の5つの分野を設け、技術革新、商品開発に積極的に取り組んでいる企業に向け、独創性、先進性に富んだ最新の技術・製品、研究成果などを公表していました。異グ連関連では「まんでんプロジェクト」によるプロジェクトのとりくみ、「C&Sグループ」による金融円滑化法終了を踏まえた企業再生、「かながわ異グ連」からは異業種交流を通じて新たな接点を拡大しよう、「NPO法人たくみ21」での高齢化社会と徘徊、というテーマでセミナーを行いました。また復興支援特別企画として、いわて「ものづくり企業」支援プロジェクトによる講演もあり、今回の参加団体は498団体で過去最高となりました。中でも生産分野の「加工技術」が183団体、「機器・装置・製品」が164団体と昨年より出展者数が94団体も増加しました。このように多くの企業から注目されるテクニカルショウは連日多くの人で賑わい、延べ3万人を集客しています。このテクニカルショウでは毎年並行して「かながわビジネスオーディション」を行っています。ここでは個人や団体からビジネスプランやのアイデアを募集し、ベンチャービジネスを県内から発掘しようという企画で1996年からスタート。県知事賞は100万円、奨励賞は30万円が贈呈されます。次年度も開催予定です。皆様、参加されてみてはいかがでしょうか？

今回、取材に行った際、全国の町工場が自作のコマをつくり対決させる喧嘩コマの日本一を競う「全日本製造業コマ大戦」が行われており報道各社も取材に訪れ、周りは黒山の人だかりで白熱した戦いが繰り広げられていました。なんでもコマは直径20ミリ以下が条件で材質や重さ、形状は自由。直径25センチの円形の台上でどれだけ長く回っていかれるかを競うようです。対戦前に名刺交換であいさつし、敗れるとコマを相手に没収される。コマの製作費に数十万円をかけるチームもあるそうで、チタンなど特殊な金属を使いでは数分間回り続けるコマもあるらしい。このパシフィコに参加する為に全国200チームの中から予選を勝ち抜いた16チームが本戦で対決しました。（優勝は岐阜県の「チームシオン」、2位は長野県の異業種交流組織「SWCN信州」、3位は精密切削加工・由紀精密（茅ヶ崎市）【前回優勝者】でした。）このようにコマ一つにも技術の推移を感じます。

会場を見ながら感じたのは昨年よりも更に技術が進歩しているということです。更にもう一つ強く感じた事があります。それは、その分野にとどまらず新たな分野とのコラボレーションを図ろうとしている企業が多くなったということです。本来の分野から家具やインテリア、文具などへの応用など金属加工分野にも変化が見られます。この様なクリエイティブさや繊細さなど、これだけ精度の高い技術力を見ていると我々日本人もまだまだ世界に勝てるような気がしたテクニカルショーでした。



金属加工バイオリン



コマ対戦模様



かながわ異グ連 ブース

次年度のテクニカルショウヨコハマ2014の出展者募集は7月上旬開始予定 <第35回工業技術見本市>

【日 時】2014年2月5日(水)～7日(金) 10:00～17:00

【場 所】横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜展示ホールC, D

【主 催】公益財団法人 神奈川産業振興センター 社団法人横浜市工業会連合会 神奈川県 横浜市

【問合せ】公益財団法人 神奈川産業振興センター：横浜市中区尾上町5-80 (神奈川中小企業センター)

[info@tech-yokohama.jp](mailto:info@tech-yokohama.jp) 045-633-5170

### 【 かながわ異グ連活動報告 】

- ◆ 理事会を招集します。(2月21日) 10:00～12:00 中小企業センター6F大研修室
- ◆ 2月16日中小企業・地域経済の活性化研究会設立
- ◆ お葬式情報案内センターのセミナーを県内各市9か所で開催予定
- ◆ 県知事宛の要望書提出について

### 【 異グ連会員グループ・プロジェクト状況 】

異業種交流会シフト21 [【http://shift21.jimdo.com/】](http://shift21.jimdo.com/)

有村 知里

3月定例会は「小さな会社が行えるリピーター獲得策～常連が飽きない旅行の作り方～」をテーマに、有限会社旅人(たびゅーと)の大西広朗氏にお話いただきます。顧客満足度をアップするユニークな企画、接客のポイントを事例で紹介いただきます

■異業種交流会シフト21とは  
シフト21は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種・業態を問わない幅広い交流を目的に定例会(原則第2火曜日)を開催しております。ゲスト参加大歓迎です。お問合せ・お申込みは有村まで。  
[arimura-c@nifty.com](mailto:arimura-c@nifty.com)

## テクニカルショウヨコハマ2013出展概要

2月6、7、8日の3日間に亘り行われた「テクニカルショウヨコハマ2013」に例年通り出展しました。出展物は展示スペースの関係からカタログ展示（一部小物品）を主体に、まんてんの活動と会員企業11社の得意技術についてのPRを行った。

紹介した技術内容は、

- |                                 |                |
|---------------------------------|----------------|
| 1 広帯域アンプ、USB対応高感度検波器            | オルイ(株)         |
| 2 ダイヤモンド砥粒と高強度耐熱樹脂を混和した研磨シート    | 新日産ダイヤモンド工業(株) |
| 3 バリの出ないエンドミルとろ過器等              | 大同工業(株)        |
| 4 一貫生産体制によるOEM生産、金属加工部品を請けます    | (株)ヤナグハラメカックス  |
| 5 航空宇宙産業向け品質マネジメントシステム          | LRQAジャパン       |
| 6 鋼を変えるHIP処理サービス                | 東都冶金技術工業(株)    |
| 7 長尺物焼入の新時代 高周波焼入れ加工            | 大洋金属工業(株)      |
| 8 マグネシウム合金 純チタンの開発と切削加工         | 川本重工業(株) 横須賀工場 |
| 9 理学・工学研究用カッチングマシン、ラッピングマシン     | (株)マルトー        |
| 10 FA自動機械（自動省力機械）製品             | ウエノテックス(株)     |
| 11 難削材、非鉄金属の精密切削加工（JISQ9100 取得） | (株)中野製作所       |

順不同

これらの技術にご関心のある方はまんてん事務局までお問合せ下さい。

まんてん事務局 森田皓子 TEL: 045-251-1200 FAX045-251-1204

## 第135回・日韓ビジネス協議会

高橋 導徳

- 日時：2013年2月20日（水）午後3時00分～5時15分 協議会 その後懇親会
- 場所：神奈川中小企業センタービル・・・5階会議室  
 かながわ異業種交流センター（異業種グループ連絡会議）TEL：045-6333-5142

<会社紹介> ◆日本プラネットアイエスティ(株) 代表取締役 荒川信也氏

・電力を効率よく供給するスマートシステムの紹介など

◆メトロインステック(株) 横浜菊名支店長 山本鈴江氏

・暮らしと人生をデザインする保険の総合代理店

○ベトナムでの事業展開について (株)クレデ経営コンサルタント事務所 所長 園部和弘氏

○最近の講演、研修について 大島経営研究所 所長 大島英雄氏

○メイン講師 (有)オリエトマシン 取締役 平手陽介氏

タイトル：「製造業における中小企業の海外進出とは？ ～現場からのレポート～」

昨今メディアにも紹介されている製造業の海外進出について、

韓国・ベトナムの事例を中心に見解をお話し皆様にも討議して頂く時間を設けたい。

## ＜C&Sグループセミナーのご案内＞

【主 催】 コンサルタント集団「C&Sグループ」(異グ連会員)

【後 援】 神奈川県異業種グループ連絡会議 (異グ連)

【日 時】 平成 25年 3月 13日 (水) 14:00～17:00

【会 場】 かながわ労働プラザ 4階 第7会議室

所在地： 横浜市中区寿町1-4 電話：045-633-5413

アクセスマップ：<http://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/~l-plaza/map.html>

【講 師】 中小企業診断士 山本 俊夫 氏

「海外進出のための課題と対策」～最新情報に基づく中国・アセアンでのもの作り～

【受講料】 1,000円 (会場費及び資料代)

【定 員】 25名

【申込方法】 FAX または E-MAIL でお申込ください

【申込締切】 平成25年3月7日(木) です。 <別紙申込参照>

★「新事業・新技術支援フォーラム」は2012年度分に遡って皆様にご報告いたしております。

### 「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)の経過報告 (その7)

異グ連事務局 松井利夫

第13回フォーラムは平成24年6月26日に開催。初めに芝氏から、毎年、秋に行われている「神奈川県ものづくり技術交流会」が今年は異業種交流枠を廃止し商品開発に限定されることになった。応募を希望することがあれば直接事務局と折衝されたい、との発言があった。

今日の最初は、「海老名サロン」について愛氏から説明していただくことになった。愛氏から、「海老名サロン」は異グ連の「地域産学交流サロン」の一つとして位置づけられている。神奈川県産業技術センターでは、当初、県や国の事業として中小企業技術者の人材育成を目的とした研修業務を実施してきたが1963年に県の単独事業として引き継いで現在に至っている。その後、毎年70人の研修卒業者が卒業後バラバラになるのは勿体ないので、異グ連が主催する産学交流としてサロンに参加しないかと卒業者に呼び掛けて「海老名サロン」を始めた。サロンは隔月開催で出席者は30名程度である。統一テーマはないが、自社の得意技術と課題を説明してもらっているとの説明があった。この会に参加している伊藤社長からは、「この会に行くことによって安心感があり、何かあったら相談に乗ってもらえる場である」との発言があった。

次は、飯田電子工業の草場社長より、創立前後から現在に至るまで経過と課題の説明があり、2,3の質問があった。遠藤氏からは、岡野工業は6人で年商6億円の売上を上げている。機械加工→鋳物→プレスへと加工方法を変えていった、などの助言があった。

次は、ユニメーションシステムの伊藤社長から新商品「浸水警報システム」について説明があった。それによると、6月から販売を開始したが、この商品の特徴は地下道・地下室・地下街等の豪雨による浸水を未然に防ぐための警報装置を有する警報システムであり、直接配電ならば8～9万円で済む、とのことである。この後、出席者から、中小企業の技術的支援を希望する会社の紹介や再生可能エネルギーの固定価格買取制度の説明などの情報交換を行った。

第15回フォーラムは平成24年7月31日に開催。芝氏より、今日予定していた「かながわソーラーセンター」にソーラー普及活動を説明してもらう予定であったが、先方の都合で話すことが出来ないとの返事。本件については、次回、責任者の山口課長に事情を話して説明の機会を設けて欲しいと申し入れることにしたと説明。そこで急遽、「動き出した次世代電力網」について栗田氏から説明してもらった。栗田氏から、スマートグリッド、スマートメーター、EMS、スマートシティ・スマートコミュニティ、マイクログリッドなどの他、直流給電住宅構想についても説明があった。鶴野氏からは、太陽パネルの設置は土地の有効利用の面から問題がある、もっと冷



静に経済効果の観点から土地利用を考えるべきであるとの発言があった。引き続いて、栗田氏から、飯田市が実施している「おひさま0円システム2011」の説明とヨコハマ太陽エネルギー(株)の事業構想について説明があった。次に、栗山氏から、元JST理事長の北澤宏一氏が書いた「日本は再生可能エネルギー大国になりうるか」という著書の紹介などがあった。石川氏から、「再生PETメッシュシートによるトンネル覆工コンクリート剥落防止工法の開発」のその後について、伊藤社長から、「浸水警報システム」のPRをビル協会や横浜市などに行っていることなどが説明された。

オフィス架け橋  
行政書士 特定社会保険労務士  
松田 健

<http://kakehashi-yokohama.web.officelive.com/shiminhou.mu.aspx>

【 連載 その14 】

平成25年4月1日施行の改正高年齢者雇用安定法について

高年齢者雇用安定法が改正され、平成25年4月1日から施行されます。今回の改正は、65歳までの雇用確保措置をより実行することにあります。その背景としては、高年齢者に支給される老齢厚生年金の支給開始年齢の引上げにあります。今回の改正は、60歳に到達しても老齢厚生年金が支給されない者が、さらに雇用を確保されない状況(全く収入がない状況)にならないように、継続雇用制度における雇用の確保を確実にするために行われるものです。

希望者全員の六十五歳までの継続雇用の義務づけと「再雇用」と「継続雇用」の違い

「再雇用」はいったん定年退職させた労働者を新たに雇用する制度であるのに対し「継続雇用」は定年に至った労働者を退職させずにそのまま雇用する制度である点に違いがあります。今回の改正への対応は、六十五歳までという条件をクリアすればどちらの制度を用いてもかまいません。ただし、再雇用の場合、雇用管理の事務手続上等の必要性から、定年退職日の翌日から雇用することが困難なケースがありえますが、定年後相当期間において再雇用する場合には、「継続雇用制度」といえない場合があり、企業として再雇用制度を選択する場合は、定年退職後、すみやかに再雇用契約を締結しうる就業規則の整備が必要です。どんなに遅くとも一給与計算期間を超えずに再雇用することが必要です。

企業に課せられた義務とは

改正前は、継続雇用制度を設定するにあたり六十歳以降六十五歳までの雇用を希望する者全員を対象とすることまでは義務付けられず、労使協定による基準を設ければ、その基準に従った選別が可能であるとされてきました。しかし、改正後はこのような選別をすることが原則としてできなくなりました。

六十五歳定年制とは

今回の改正は、六十五歳定年制を要求するものではありません。あくまで、六十五歳までの雇用を確保することにその主眼があり、継続雇用制度や再雇用制度によってこれが賄われるのであれば問題ありません。

法令に違反した場合の罰則

違反した場合の罰則は規定されておりません。ただし、措置実施に関する勧告を受けたにもかかわらず、これに従わなかったときは、厚生労働大臣がその旨を公表することとされています。これに伴い、行政上の取扱いとして、当該措置の未実施の状況等に鑑み、必要に応じ企業名の公表を行い、各種法令等に基づき、ハローワーク等での求人への不受理・紹介留保、助成金の不支給等の措置を講じることが予定されています。

## 産学官交流サロンコーナー (お申し込みは下記まで)

	尾上町サロン	西湘サロン 第43回	三浦半島経済人サロン 第55回	神奈川新産学公交流 第54回 サロン横浜
日程	3月1日(金) 3月15日(金)	3月11日(月) 18:00~20:00 開場は17:30~	3月29日(金) 18:00~20:30 開場は17:30~	2月20日(水) 18:00~19:30 19:40~交流会
場所	神奈川中小企業センター 5階 異グ連事務所	小田原市第三区公民館 小田原市栄町1-16-41 (駐車場はありません)	神奈川新聞社 横須賀支 社5階会議室 横須賀市小川町21-9	神奈川中小企業センター 5階 会議室 異グ連
連絡先	異グ連	異グ連(島津、吉池、)	異グ連(八幡、鶴野)	(織方、篠原、坂本、杉本)
内容	原則第一・第三金曜日 (17:15~19:30) 参加費:1,000円	「障害があっても社員の 一員:(働く)(暮らす)(遊 ぶ)を支える」 露木とし氏 安藤智美氏 参加費:1,000円	「次代をまかせる人材を 育てよう」 有限会社原田運送 代表取締役社長 原田周二氏 参加費:1,000円	「今日を充実して生きる ため『あすおもう』」 浄土宗箱根阿弥陀寺 単 立宗佛音の会 代表 上野幸彦氏 参加費:1,000円

## 事務局のコーナー

今回の2月号はいかがでしたでしょうか?先日パシフィコ横浜で行われましたテクニカルショウヨコハマ2013に関する記事を掲載しました。昨年に比べて多くの出展者がいましたので会場も活気にあふれていました。この会場でも多くの商談につながったり同業者同士のコミュニケーションがはかれるなど、このイベントの価値は大きいと感じています。来年度の日取りも既に決定していますので積極的にこのような機会をチャンスにかえていただければと思います。

ここ最近、寒い日が続いており街ではインフルエンザなども流行しています。手洗い、うがいはもちろんですが水分の補給にお気を付け下さい。ではまた3月号でお目にかかりましょう。

「かながわ異グ連ニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」となりますのでお気軽にご投稿下さいませ。

お伺いできる範囲であれば取材にもお伺いします。尚、自薦・他薦は問いません。

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail [masahito@ab.bb-east.ne.jp](mailto:masahito@ab.bb-east.ne.jp)



神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①③④荒 直孝 ②⑤村田和彦【火】①③⑤児玉 英二 ②④八幡 敬和【水】①愛賢司②③④⑤杉本 明子(芝)

【木】松井 利夫 【金】①菊地(芝)③村上②④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異グ連事務局

T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: [iguren@kanagawa-iguren.com](mailto:iguren@kanagawa-iguren.com)

より良い紙面にしていくため皆様からの投稿、ご意見をお待ちしております。お問い合わせ、連絡先は下記の通り。

(会報編集担当) mail [masahito@ab.bb-east.ne.jp](mailto:masahito@ab.bb-east.ne.jp) 宗和(そうわ) 携帯:090-5556-8238

神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 Tel:045-633-5142 Fax:045-633-5194